

労働市場の概要（平成29年5月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成29年5月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.71倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は1.0%減少し、有効求職者数(季節調整値)も0.5%減少した。また、新規求人数(季節調整値)は2.4%増加し、新規求職者数(季節調整値)は5.3%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、宿泊業・飲食サービス業(3.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(7.9%減)で減少したものの、建設業(1.4%増)、製造業(8.5%増)、運輸業・郵便業(9.9%増)、卸売・小売業(7.2%増)、医療・福祉(6.7%増)で増加したことから、全体でも対前年同月比3.0%増と2ヶ月ぶりに増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で3.6%減と2ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、9ヶ月連続で1.7倍台となり、高水準が続いている。
県内の雇用情勢は改善が進んでいる。

1 有効求人倍率(季節調整値)

5月の有効求人倍率は1.71倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

(1)有効求人(パートを含む)

○ 5月の有効求人は51,537人で、対前年同月比(原数値比較)で5.9%増加し、対前月比(季節調整値比較)では1.0%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で21ヶ月連続の増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 5月の有効求職は32,060人で、対前年同月比(原数値比較)で0.8%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で2ヶ月連続の減少となった。

(3)5月の正社員の有効求人倍率は1.11倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

5月の新規求人倍率は2.56倍となり、前月に比べ0.2ポイント上昇。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 5月の新規求人は17,487人で、対前年同月比(原数値比較)で3.0%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも2.4%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で2ヶ月ぶりの増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	1.4%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
製造業	8.5%の増加	(7ヶ月連続の増加)
運輸業・郵便業	9.9%の増加	(7ヶ月連続の増加)
卸売・小売業	7.2%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
宿泊業・飲食サービス業	3.1%の減少	(3ヶ月連続の減少)
医療・福祉	6.7%の増加	(13ヶ月連続の増加)
サービス業 (他に分類されないもの)	7.9%の減少	(6ヶ月ぶりの減少)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 5月の新規求職は7,846人で、対前年同月比(原数値比較)で3.6%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも5.3%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は2ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は592,169人で、対前年同月比3.0%の増加となり、89ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,417人で、対前年同月比2.3%の減少となり、受給率は1.1%となった。